令和７年度　シラバス　　産業デザイン工学課題研究

科・学年	産業デザイン工学科３年	単位数	３	教科書・教材	自作プリントなど

１．学習の目標

・工業に関する課題を設定し、その課題の制作過程を通して専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・総合的な学習態度を身に付ける。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
・課題制作 ・経過発表	・各自のテーマ（実習と同様のテーマ）について、学習し十分に理解します。 ・自由討論により日常生活を点検し問題点を出し合い、自分の研究内容を考えます。 ・テーマに沿って、研究し作品制作します。 ・進度の確認の為、学期末に中間発表・報告会をします。 ・最終的な修正・加工をして完成させます。
・プレゼンテーション ・卒業制作展 ・報告書の作成	・１０分間で一人一人のテーマ、作品などのプレゼンテーションを行います。 ・卒業制作展用のパネルを制作し、卒業制作展に展示発表をします。 ・研究結果の報告書を作成します。

３．担当者からのメッセージ

・産業デザイン工学科で学習したこと、実習で学んだことの集大成です。計画的に研究や調査を行い、完成度の高い作品制作を目指してください。
・正しく実習服を着用して、安全第一に努めてください。

令和７年度　シラバス　　産業デザイン工学実習

科・学年	産業デザイン工学科３年	単位数	５	教科書・教材	デザイン実践（実教出版）自作プリントなど

１．学習の目標

・デザイン分野における基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に学習し、応用的な技術・表現にも進んで対応できる能力と技術を身に付ける。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
・テーマ（ＶＤ、ＳＤ、ＩＤ、ＧＤ）の選択 ・課題制作 【ＶＤ：ビジュアルデザイン】 ・ポスターデザイン 【ＳＤ：スペースデザイン】 ・新しい空間の提案 【ＩＤ：インダストリアルデザイン】 ・新しい生活用品や雑貨の制作 【ＧＤ：グラフィックデザイン】 ・新しいブランドの提案	・実習の取り組み姿勢や作品制作のルール等理解します。 ・作品制作の技術的学習をします。 ・自分で考えた作品の設定、計画の立案をします。 ・市場調査を行い、資料収集を行います。 ・アイデアスケッチの展開。最終案を決定します。 ・課題の制作します。
・審査会資料等準備 ・プレゼンテーション ・展示計画、準備	・審査会資料を作成します。 ・プレゼンテーションの計画を立て、発表します。 ・卒業制作展の計画、準備を行います。 ・片付けと年間の反省をします。

３．担当者からのメッセージ

・デザイン全般について、各自のテーマに沿って作品制作をする中で様々な学習をします。世界にただ一つの作品を目指して、また堂々と発表できるよう頑張りましょう。

令和７年度　シラバス　　産業デザイン工学製図

科・学年	産業デザイン工学科　３年	単位数	２	教科書・教材	デザイン製図（実教出版）

１．学習の目標

・日本工業規格に基づく製図法とデザイン分野の製図技術について、基礎的な知識と技術を、作図作業を通して学習します。

２．学習の内容

学習の内容	主な学習活動
・立体の表現方法を学ぶ。	・透視図法の歴史、絵画の遠近法との関係などを理解します。
・二点透視図法の仕組みを理解する。	・二点透視図法について、実際に作図しながら学習します。
・自分の家を設計する。 ・住宅パースを描く。	・二点透視図法を理解し、自分が設計した住宅を二点透視図法で表現します。

３．担当者からのメッセージ

・理論的に立体物を描く方法を中心に学習します。感覚的に描いたデッサンと結果的に同様の図になることを体験する中で、デザインに必要な描写力と製図技術の学習をします。

令和７年度　シラバス　　デザイン材料

科・学年	産業デザイン工学科３年	単位数	２	教科書・教材	デザイン材料（海文堂出版）

１．学習の目標

・デザインに応じた適切な材料を選ぶ能力を身に付け、デザイン材料についての基礎的な知識を学びます。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
自分たちが生活をするうえで使用している多くの工業製品の材料について学習します。 （木、紙、皮革、繊維、セラミック、ガラスなど）	身の回りで使用している工業製品などに目を向けて、どのような材料を使用し、どのような工程で作られているのかを学び、より良い製品や別の材料が使用できないかなど自ら考えます。（使用材料を通じて、なぜこのデザインなのかを学びます）

３．担当者からのメッセージ

・デザインとは「発想」を具体化することです。「こんなものがあったら・・」を製品にすることです。その時にまず、考えることは「何を使ってつくる」ということでしょうか。効果的な材料を選び、実際に制作して使用することで、評価が決まってきます。大きさや形、色や加工方法まで考えるのが「デザイン材料」の学習です。いろいろ考えてみましょう。

令和７年度　シラバス　　**デザイン史**

科・学年	産業デザイン工学科３年	単位数	2	教科書・教材	デザイン史（実教出版）

１．学習の目標

造形とデザインの歴史的理解を深め、実際に鑑賞し創造する能力と知識を身に付けます。
・背景にある生活史、精神史を通じて造形の歴史の理解を深めます。
・今日のデザインと各時代（地域）のデザインとの比較を通じて、自己の再認識を図ります。
・色鉛筆などを多用し、工夫した授業ノート作成をします。
・ＶＴＲや写真など視聴覚教材を効果的に用いて具体的に理解します。　・
グループ単位で意見をまとめ発表会する時間を設け、プレゼンテーション能力を高めます。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
・各国におけるデザイン活動について年代別に学習する。	【日本】 ・原始時代から現在に至るまでの日本における造形とデザインについて学習し、生活との関わりについて考察する。 ・日本特有の文化と伝統工芸について。 ・時代に応じた日本特有の柄と文様について。 【西洋】 ●原始から古代のデザインについて。 ・石器時代から金属器時代への推移の考察をする。 ・先史時代の有名な遺物に関する知識を得る。 ・文明の発達の要因について考察する。 ・古代エジプト文明とメソポタミア文明を比較して理解を深める。 ・ギリシャとローマの文化を比較して理解を深める。 ●中世～近世 ・教会建築様式の変遷を中心に、各時代の宗教思想と造形の変化について理解を深める。 ・イスラム・ロマネスクについて。 ・ゴシックと中世について。 ・ルネッサンスとバロックについて。 ・ロココ・19世紀について。 ●近代 ・社会情勢、思想の激動と建築造形の変化について理解を深める。 ・産業革命以後の生産システムの変化、工業技術と製品デザインの関係について理解を深める。 ・近代デザインの様式、近代デザインの名作に関する知識。 ・美術思想(運動)との関連について理解する。 ●現代 ・現代日本のデザイナーと作品について学習する。 ・文化、環境問題を中心に、これからのデザインのあり方について考察する。
・これからのデザインについて考察する。	・デザインの反省と将来への展望。

３．担当者からのメッセージ

・原始から現在に至るまでの日本・西洋デザインの概要の中から、特に重要な部分を詳しく学習します。
・テレビやインターネットなどで目にする建築物や様式を、ものづくりの観点から学習します。
・自分の意見をプレゼンすることもあります。また、産業デザイン工学科の授業らしくノートも工夫がみられるといいですね。

令和７年度　シラバス　　**インテリア計画**

科・学年	産業デザイン工学科３年	単位数	２	教科書・教材	インテリア計画（実教出版）

１．学習の目標

・インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を学習します。
・ICT機器を使用して自分のアイデアをプレゼンテーションし、分かりやすく提案することができます。

２．学習の内容

学習内容	主な学習活動
１．インテリア計画の概要 ２．インテリアの造形と心理 人間の感覚・知覚と造形	・内部空間の設計、条件の考え方を理解します。 ・インテリアデザインにおいて、形態・色彩・テクスチャー・空間などの造形要素が、人間の心理にどのように働きかけているか具体的に考察します。 ・作品をもとにプレゼンテーションをし、提案する。
３．インテリアの環境	・物理的・心理的環境を考慮して、要求に合うように環境を調整することを学びます。
４．インテリアと人間工学 人間工学 インテリアへの応用	・人間工学とは何か。そして、人間工学がインテリアを設計するための有効的な手段としてどのように役立つか理解します。
５．寸法計画と規模計画 空間の目的と規模	・生活の場面を想定し、人間工学との関係を理解します。 ・空間における寸法を理解し、目的にあった規模で計画できる設計をします。
６．インテリアエレメント 種類、位置付け	・インテリアを位置付けるエレメントとは何かを学習し、それらの種類及び分類について理解する。また、スタイルにあったエレメントの提案をします。 ・具体的な空間を意識しながら、それぞれに合った空間の提案を行います。
７．各種空間の計画 住宅、事務所、各種施設 まとめ	

３．担当者からのメッセージ

・人と空間の関わりなど、インテリア計画は空間デザインに必要な学習内容です。
・生活の中にあるインテリアに興味をもち、自分の身近なものとして学ぶことで生活の幅が広がり楽しい学習となります。